



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2021年2月5日

上場会社名 ヒビノ株式会社

上場取引所 東

コード番号 2469 URL <https://www.hibino.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 日比野 晃久

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員ヒビノGMC経営企画グループ長 (氏名) 大関 靖

TEL 03-3740-4391

四半期報告書提出予定日 2021年2月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	20,078	△33.8	△3,862	—	△2,797	—	△2,173	—
2020年3月期第3四半期	30,328	31.4	1,391	55.6	1,518	43.0	826	33.0

(注)包括利益 2021年3月期第3四半期 △2,049百万円 (—%) 2020年3月期第3四半期 810百万円 (24.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	△219.45	—
2020年3月期第3四半期	82.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	33,688	7,883	22.9
2020年3月期	33,384	10,283	30.4

(参考)自己資本 2021年3月期第3四半期 7,706百万円 2020年3月期 10,162百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	17.50	—	17.50	35.00
2021年3月期	—	5.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,000	△24.1	△3,800	—	△2,800	—	△2,300	—	△232.32

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1 社 (社名) Hibino Europe B.V. 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	10,265,480 株	2020年3月期	10,265,480 株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	377,600 株	2020年3月期	306,000 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	9,904,273 株	2020年3月期3Q	9,959,533 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界規模での拡大に伴い社会経済活動が停滞し、景気は急速に悪化しました。感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを段階的に引き上げていく局面であります。当面の間は、極めて厳しい状況が続くと見込まれます。

当社グループを取り巻く環境においては、新型コロナウイルス感染症の拡大により、コンサート・イベント市場は大幅な縮小を余儀なくされました。イベント開催における収容人数や収容率の制限が段階的に緩和されてきましたが、いまだ大規模イベントへの規制は継続されています。第二波、第三波の襲来の影響もあり、市場の回復は大幅に遅れています。

このような状況のもと当社グループ(当社と連結子会社20社)は、徹底した緊縮経営と十分な手元資金の確保に努めました。

新型コロナウイルス感染症に係る事業活動及び業績への影響は、セグメントごとに異なっております。電気音響・販売施工事業は、主力のコンサート音響市場やシネマ市場等で冷え込みが目立つなど影響を受けましたが、受注済みの大型案件の進行が中心の建築音響・施工事業及び映像製品の開発・製造・販売事業は、影響は軽微でありました。コンサート・イベントサービス事業は、イベント開催制限・自粛の影響を直接的に受け、事業の一部休業を継続しており、極めて厳しい状況が続きました。

売上高が落ち込む中、利益面においては、役員報酬の減額をはじめ人件費、その他管理可能コストの削減をグループ全体で実施しております。また、休業に伴う助成金収入を営業外収益に計上しております。

なお、必要運転資金については、現時点で十分な手元流動性を確保しておりますが、新型コロナウイルス問題の長期化に備え、金融機関との間で50億円のコミットメントライン契約を締結し、財務基盤のより一層の安定を図っております。

これらの結果、売上高20,078百万円(前年同四半期比33.8%減)、営業損失3,862百万円(前年同四半期は営業利益1,391百万円)、経常損失2,797百万円(前年同四半期は経常利益1,518百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失2,173百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益826百万円)となりました。

なお、2019年2月28日に行われたTLS PRODUCTIONS, INC.との企業結合について、前第3四半期連結累計期間に暫定的な会計処理を行っていましたが、前連結会計年度末に確定したため、前年同四半期との比較・分析にあたっては、暫定的な会計処理の確定による影響を反映した後の金額を用いております。

セグメントの業績は次のとおりであります。

[電気音響・販売施工事業]

電気音響・販売施工事業は、主力のコンサート音響市場やシネマ市場で冷え込みが目立ち、売上の基礎となる流通商品の販売も軟調に推移いたしました。一方、Web会議やライブ配信関連商品の需要が伸びるなど、明るさが見える市場もありました。

これらの結果、売上高9,971百万円(前年同四半期比12.6%減)、セグメント損失456百万円(前年同四半期はセグメント損失83百万円)となりました。

[建築音響・施工事業]

建築音響・施工事業は、ホール、放送局等の建築音響工事をはじめ、自動車メーカー、電機メーカーの音響実験室工事、清掃工場の防音工事等を手掛けましたが、前年同四半期に収益性の高い大型案件が集中していたことから、売上高及び利益は前年同四半期を下回りました。

これらの結果、売上高5,103百万円(前年同四半期比21.0%減)、セグメント利益70百万円(同87.3%減)となりました。

[映像製品の開発・製造・販売事業]

映像製品の開発・製造・販売事業は、東京オリンピック・パラリンピック関連の仮設施設をはじめ、新設アリーナ向け、アパレル店舗向け等の大型案件を手掛けるなど好調に推移し、売上高及び利益は前年同四半期を上回りました。

これらの結果、売上高1,382百万円(前年同四半期比24.3%増)、セグメント利益189百万円(同71.7%増)となりました。

[コンサート・イベントサービス事業]

コンサート・イベントサービス事業は、厳しい事業環境に変わりはないものの、イベント開催制限の段階的緩和に伴い、リアルのコンサート・イベントが再開され始めました。また、ライブ配信需要の増加もあり、第2四半期までの落ち込みからは、回復の兆しが見られました。

これらの結果、売上高3,391百万円(前年同四半期比68.9%減)、セグメント損失2,895百万円(前年同四半期はセグメント利益1,769百万円)となりました。

[その他の事業]

その他の事業は、業務用照明機器の販売、システム設計・施工・メンテナンスを行っております。

売上高229百万円(前年同四半期比46.7%減)、セグメント損失9百万円(前年同四半期はセグメント利益45百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は33,688百万円となり、前連結会計年度末と比べて304百万円増加しました。これは受取手形及び売掛金が減少したものの、現金及び預金並びに投資その他の資産のその他が増加したことが主な要因であります。

負債合計は25,805百万円となり、前連結会計年度末と比べて2,703百万円増加しました。支払手形及び買掛金が減少したものの、短期借入金及び長期借入金が増加したことが主な要因であります。

純資産合計は7,883百万円となり、前連結会計年度末と比べて2,399百万円減少しました。これは親会社株主に帰属する四半期純損失の計上及び株主配当により利益剰余金が減少したことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2020年11月6日に「2021年3月期 第2四半期決算短信」にて公表しました数値に変更はありません。なお、今後の業績動向を踏まえ、修正の必要が生じた場合には速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,807,495	4,857,217
受取手形及び売掛金	9,004,688	5,943,572
商品及び製品	3,714,141	3,967,702
仕掛品	2,155,644	1,836,864
原材料及び貯蔵品	72,661	93,171
その他	1,500,409	1,936,851
貸倒引当金	△56,396	△52,554
流動資産合計	19,198,645	18,582,826
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,279,906	2,544,982
減価償却累計額	△1,361,572	△1,213,734
建物及び構築物(純額)	918,333	1,331,247
機械装置及び運搬具	16,384,918	16,681,362
減価償却累計額	△11,883,748	△12,674,898
機械装置及び運搬具(純額)	4,501,169	4,006,464
工具、器具及び備品	1,871,302	2,179,261
減価償却累計額	△1,495,959	△1,536,080
工具、器具及び備品(純額)	375,342	643,181
リース資産	1,701,928	1,783,763
減価償却累計額	△788,229	△869,646
リース資産(純額)	913,699	914,116
その他	1,713,495	1,647,571
有形固定資産合計	8,422,040	8,542,580
無形固定資産		
のれん	2,277,661	2,055,610
その他	482,156	445,072
無形固定資産合計	2,759,817	2,500,683
投資その他の資産		
その他	3,027,515	4,085,998
貸倒引当金	△23,774	△23,275
投資その他の資産合計	3,003,741	4,062,722
固定資産合計	14,185,599	15,105,986
資産合計	33,384,244	33,688,813

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,900,894	2,325,640
短期借入金	2,330,000	4,452,993
1年内返済予定の長期借入金	2,628,416	3,377,364
リース債務	338,557	346,608
未払法人税等	356,656	85,517
前受金	2,034,816	2,716,592
賞与引当金	754,103	272,629
資産除去債務	109,556	9,857
その他	1,473,733	1,509,341
流動負債合計	13,926,732	15,096,545
固定負債		
長期借入金	5,966,152	7,433,102
リース債務	659,319	638,939
退職給付に係る負債	2,286,650	2,308,246
資産除去債務	98,632	171,911
その他	163,676	156,389
固定負債合計	9,174,431	10,708,588
負債合計	23,101,164	25,805,133
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,748,655	1,748,655
資本剰余金	1,981,767	1,981,767
利益剰余金	6,627,807	4,230,576
自己株式	△166,027	△265,961
株主資本合計	10,192,202	7,695,037
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,002	16,203
繰延ヘッジ損益	2,975	△1,122
為替換算調整勘定	△77,579	△39,904
退職給付に係る調整累計額	37,511	36,420
その他の包括利益累計額合計	△30,090	11,597
非支配株主持分	120,968	177,044
純資産合計	10,283,080	7,883,679
負債純資産合計	33,384,244	33,688,813

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	30,328,316	20,078,122
売上原価	19,684,373	15,461,453
売上総利益	10,643,942	4,616,669
販売費及び一般管理費	9,252,063	8,479,251
営業利益又は営業損失(△)	1,391,878	△3,862,581
営業外収益		
受取利息	4,055	2,891
受取配当金	6,946	3,227
為替差益	—	74,144
助成金収入	—	916,597
保険解約返戻金	53,573	54,029
その他	140,010	109,049
営業外収益合計	204,586	1,159,941
営業外費用		
支払利息	64,501	62,667
支払手数料	816	15,818
為替差損	6,010	—
その他	6,809	16,781
営業外費用合計	78,137	95,267
経常利益又は経常損失(△)	1,518,327	△2,797,906
特別損失		
事務所移転費用	—	20,740
為替換算調整勘定取崩損	—	22,581
特別損失合計	—	43,322
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,518,327	△2,841,229
法人税等	672,821	△719,002
四半期純利益又は四半期純損失(△)	845,505	△2,122,226
非支配株主に帰属する四半期純利益	18,932	51,274
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	826,572	△2,173,500

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	845,505	△2,122,226
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,460	9,200
繰延ヘッジ損益	1,422	△4,097
為替換算調整勘定	△41,078	46,521
退職給付に係る調整額	△485	△1,090
その他の包括利益合計	△34,681	50,533
四半期包括利益	810,824	△2,071,692
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	794,146	△2,131,812
非支配株主に係る四半期包括利益	16,677	60,119

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年3月25日開催の取締役会決議に基づき、自己株式71,600株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が99,933千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が265,961千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電気音響 ・販売施工 事業	建築音響・ 施工事業	映像製品の 開発・製造 ・販売事業	コンサート ・イベント サービス 事業	その他の 事業			
売上高								
外部顧客への 売上高	11,407,578	6,461,612	1,111,892	10,916,432	430,799	30,328,316	—	30,328,316
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	138,636	3,100	57,874	106,294	34,052	339,956	△339,956	—
計	11,546,214	6,464,712	1,169,766	11,022,726	464,852	30,668,273	△339,956	30,328,316
セグメント利益 又は損失(△)	△83,550	556,298	110,559	1,769,809	45,422	2,398,538	△1,006,659	1,391,878

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,006,659千円には、セグメント間取引消去54,650千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,061,309千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電気音響 ・販売施工 事業	建築音響・ 施工事業	映像製品の 開発・製造 ・販売事業	コンサート ・イベント サービス 事業	その他の 事業			
売上高								
外部顧客への 売上高	9,971,114	5,103,465	1,382,150	3,391,772	229,619	20,078,122	—	20,078,122
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	85,579	147,677	98,944	74,476	138,140	544,818	△544,818	—
計	10,056,693	5,251,143	1,481,095	3,466,249	367,759	20,622,941	△544,818	20,078,122
セグメント利益 又は損失(△)	△456,128	70,849	189,798	△2,895,851	△9,090	△3,100,423	△762,157	△3,862,581

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△762,157千円には、セグメント間取引消去118,235千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△880,392千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3. 前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、暫定的な会計処理の確定による影響を反映した後の金額により組み替えております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。